

平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	建設機械施工における環境対策の推進		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H21/H27		担当課室	公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室		室長 福島 眞司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	3 地球環境の保全 9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地球温暖化対策の推進に関する法律		関係する計画、通知等	地球温暖化対策計画(案)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球温暖化対策のため建設機械から排出される二酸化炭素の大幅な削減を目指して、ハイブリッド建設機械・電動建設機械等の新たな技術に対応した燃費測定手法の整備、燃費データを活用した燃費基準値の設定と低燃費を実現した建設機械の普及促進、カーボンニュートラルであるバイオディーゼル燃料の建設機械への使用促進を図ることにより、建設機械施工における環境対策を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化対策に資するため、建設機械から排出されるCO2の大幅削減を目指し、我が国の先進的な技術(ハイブリッド型建設機械等)の一層の開発競争を促すための適切な評価手法を確立するとともに、CO2排出量の削減に資する建設機械類及び燃料の活用・導入を促進する。これらの検討にあたっては、学識経験者等を含め産学官連携を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	18	16	10	8	8	
	執行額	18	14	9	-	-		
	執行率(%)	99%	87%	92%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	ハイブリッド型建設機械等の普及台数		成果実績	台数	470	960	1560	1200
			達成度	%	39%	80%	130%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ハイブリッド型建設機械等の燃費基準値の設定に向けた検討であるため、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	-		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	地球温暖化防止等対策調査費	8.3百万円	8.1百万円					
	諸謝金	0.1百万円	0.1百万円					
	委員等旅費	0.07百万円	0.06百万円					
	職員旅費	-	0.2百万円					
	計	8百万円	8百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	排気ガス性状悪化による大気環境の悪化及び地球温暖化は地球規模の環境問題であり、政府関与の必要性は高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	普及促進を図っているハイブリッド型建設機械の普及台数は順調に増加している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議していただいている。また、契約している相手方から直接報告書を提出させることにより事業実施内容を把握している。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	参加条件の緩和は図られたが、依然として入札参加企業が少ないことから、より一層の入札方法の見直しを図るべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	引き続き参加条件の緩和・見直し等を行い、競争性の向上を図る。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	45	平成23年	21	平成24年	27

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通省
9百万円

諸謝金：0.1百万円
職員旅費：0.3百万円
委員等旅費：0.07百万円

- ①アタッチメントを装着した油圧ショベルの燃費基準を検討した。
- ②建設機械からのCO2排出量を算定した。
- ③油圧ショベルの省燃費施工について検討した。

【企画競争入札】

A.(一社)日本建設機械施工協会
9百万円

- ①アタッチメントを装着した油圧ショベルの燃料消費量を測定し、標準バケット装着時に対する変動率を整理した。
- ②建設機械からのCO2排出量算定のため、排出ガス基準ごとの保有台数及び稼働時間を調査した。
- ③油圧ショベルの省燃費施工時における燃料消費量について整理した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費等	7.675			
試験費	建設機械の賃料、燃費試験実施等	1.307			
その他	旅費交通費等	0.006			
計		8.988	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)日本建設機械施工協会	①油圧ショベルのアタッチメント装着時における燃料消費量についての推計方法に関する検討、②建設機械稼働状況の調査、③施工方法の改善による燃料消費量削減効果の検証、を実施した。	8.988	1	99.9%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-